



TechFirm

テックファームホールディングス株式会社

2025年6月期 中間期
決算説明資料

2025年2月7日

東証グロース(3625)

目次

1. 業績ハイライト	P. 3
2. 決算概要(全社)(2025年6月期 中間期)	P. 5
3. 決算概要(セグメント別)(2025年6月期 中間期)	P. 9
4. 通期業績予想(2025年6月期)	P. 15
5. APPENDIX	P. 18



業績ハイライト

業績ハイライト(連結)

増収・増益

売上高

3,173百万円
YoY 32.2%↑

営業利益

359百万円
YoY 865.7%↑

経常利益

368百万円
YoY 665.5%↑

親会社株主に帰属する中間純利益

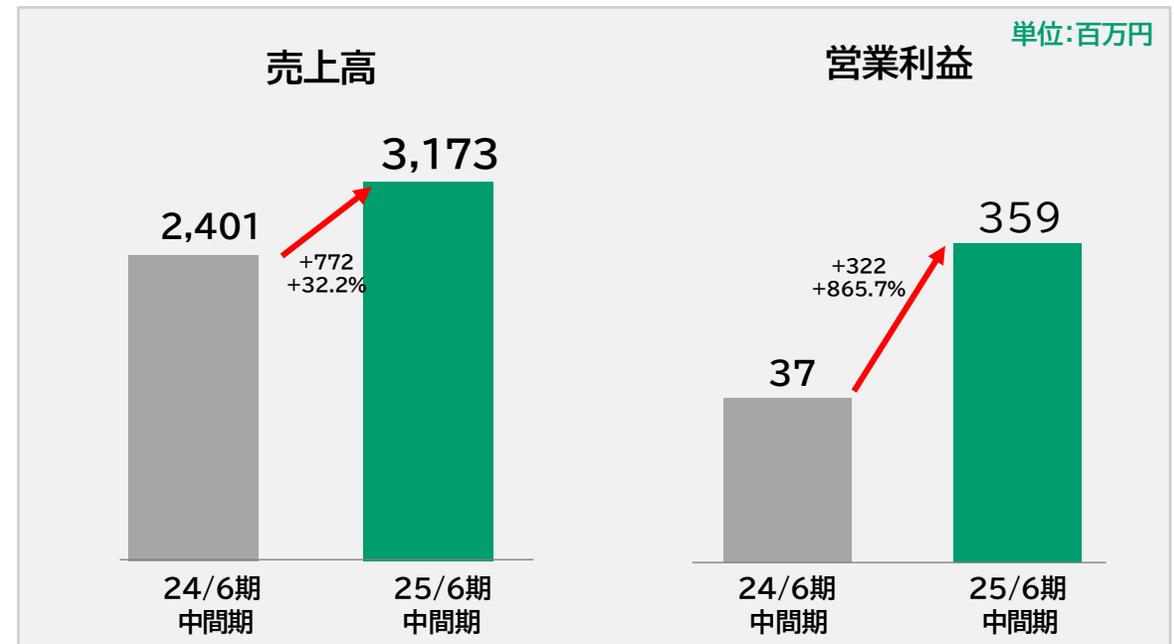
218百万円
YoY — ↑

(注目点)

売上は前年同期比で30%を超える大幅増収
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は過去最高

(要因)

- 各セグメント共に前年同期比で大幅増収
- ICTソリューション事業のセグメント利益は前年同期比で倍増
- 注力分野「XR/VR分野」の売上伸長



決算概要(全社) (2025年6月期 中間期)

決算概要（全社）

増収・増益

【ICTソリューション事業】 増収・増益

大型開発案件の受注及び開発が順調に推移、利益率の高い新規大型案件の増加により増収増益

プロジェクトの安定化に向けた取り組みの効果により不採算案件は減少

【クロスボーダー流通プラットフォーム事業】 増収・赤字幅縮小

海外販路開拓支援サービス『コネクトアジア』の顧客企業獲得に向けたプロモーション活動は順調に推移

リアル(海外の直営店舗)及びECサイト上でイベントを複数開催し、toC向け販売マーケティング活動を展開

単位:百万円

	24/6期 中間期	25/6期 中間期	増減率 (前年同期比)	増減額 (前年同期比)
売上高	2,401	3,173	+32.2%	+772
営業利益	37	359	+865.7%	+322
営業利益率	1.6%	11.3%	—	+9.7pt
経常利益	48	368	+665.5%	+320
親会社株主に帰属する 中間純利益	5	218	—	+212



連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	24/6期 中間期	25/6期 中間期	増減額 (前年同期比)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213	90	303
投資活動によるキャッシュ・フロー	77	△37	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37	△37	△0
現金及び現金同等物の増減額	△173	4	+178
現金及び現金同等物の期首残高	2,320	2,338	+17
現金及び現金同等物の期末残高	2,146	2,342	+196

主な増減要因

【営業CF】 中間純利益計上による資金増加の一方、売上債権及び契約資産の増加による資金減少

【投資CF】 有形固定資産の取得による支出や投資有価証券の取得による支出

【財務CF】 配当金の支払



連結貸借対照表

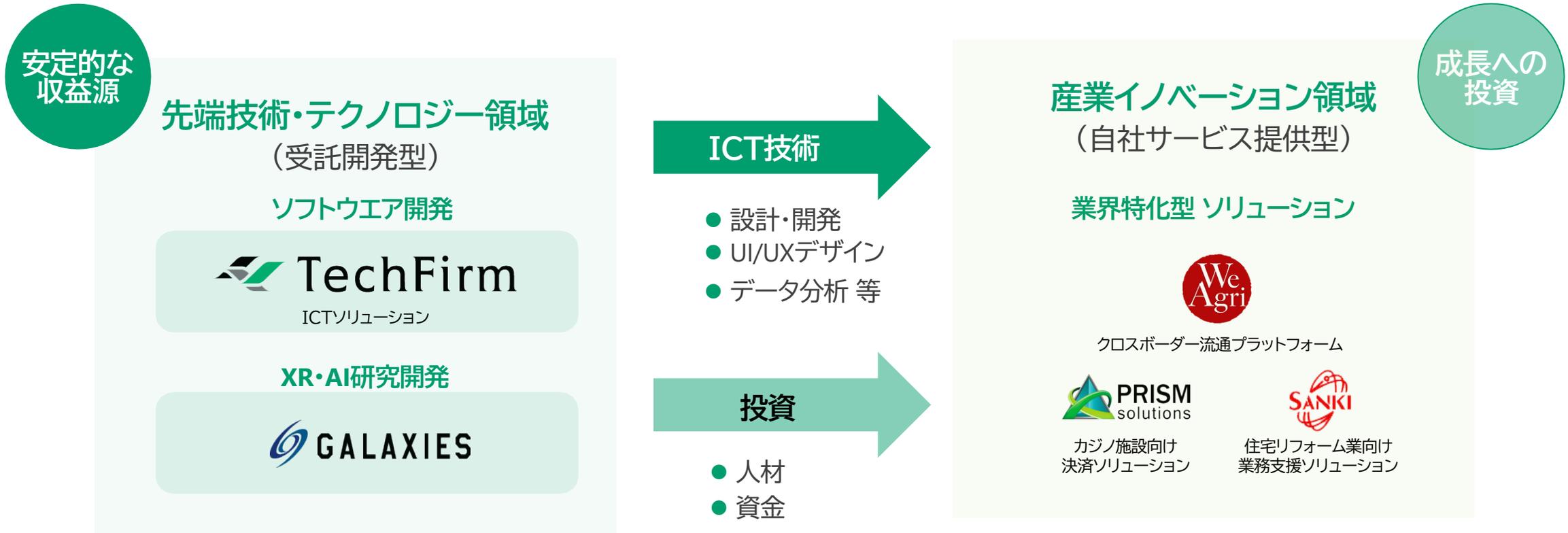
単位:百万円

	24/6期 期末	25/6期 中間期	増減額 (前期比)		24/6期 期末	25/6期 中間期	増減額 (前期比)
流動資産合計	3,620	3,947	+326	流動負債合計	1,258	1,437	+179
有形固定資産	31	45	+14	固定負債合計	531	528	△2
無形固定資産	7	5	△1	負債合計	1,789	1,966	+177
投資その他の資産	400	409	+8	株主資本合計	2,273	2,449	+175
固定資産合計	439	460	+21	その他の包括利益 累計額合計	2	△3	△5
繰延資産	5	4	△0	純資産合計	2,275	2,446	+170
資産合計	4,065	4,412	+347	負債純資産合計	4,065	4,412	+347

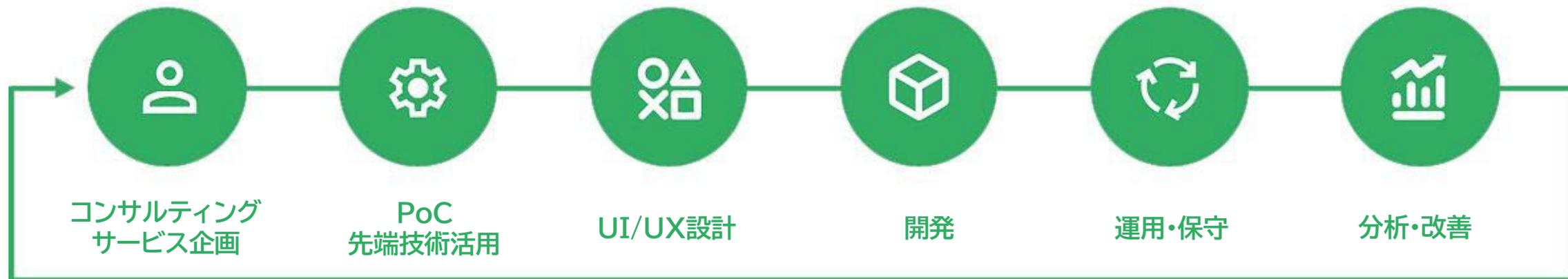
決算概要(セグメント別) (2025年6月期 中間期)

セグメント概要:全体像

安定的な収益源である先端技術・テクノロジー領域(受託開発型)で蓄積した開発実績・ノウハウを成長への投資と位置付ける産業イノベーション領域(自社サービス提供型)へ投資し、さらに事業を拡大



プライムベンダーとして顧客ニーズをダイレクトに把握
サービス企画、先端技術活用、UI/UX設計、開発、運用・保守など、ワンストップサービスを自社で確立



新技術を探求できる技術力

先駆者のいない未知の技術であっても、調査・検証等を経てサービスに活用できる状態を目指す探求心と技術力を保持



目的や効果を重視したプロジェクト運営

現状の業務や課題に対し企画提案から支援、どのような効果をもたらすかを確かめながらプロジェクトを進行



シームレスな全体最適が可能

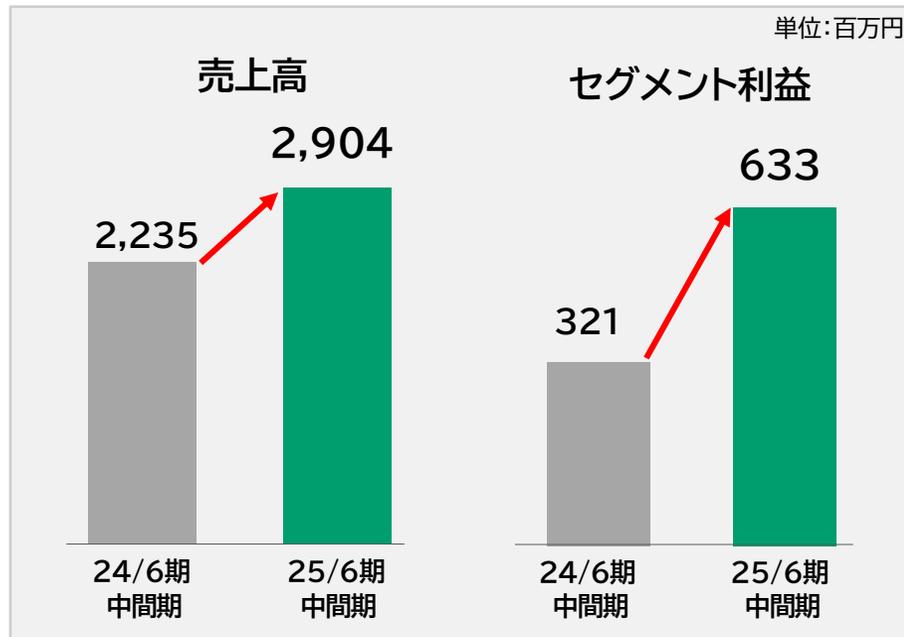
部分的な機能の開発ではなく、既存システムとの連携、サービスや業務全体を考慮したシームレスなUI設計・開発が可能

決算概要 : ICTソリューション事業

増収・増益

単位:百万円

	24/6期 中間期	25/6期 中間期	増減率 (前年同期比)	増減額 (前年同期比)
売上高	2,235	2,904	+29.9%	+668
セグメント利益	321	633	+97.0%	+311
セグメント利益率	14.4%	21.8%	—	+7.4 pt



要因・その他

【増収】

- ・ 大型開発案件の受注及び開発が順調に推移、事業環境も良好

【増益】

- ・ プロジェクト進捗のモニタリングや品質チェック等、安定化に向けた取り組みの効果により不採算案件は減少
- ・ 新規大型案件で利益率が高い上流工程フェーズのプロジェクトの増加により前年同期比で利益倍増

【注力分野】

- ・ 先端技術分野のXRデバイス活用案件が伸長
⇒ 外部への情報発信を継続し、新規顧客獲得を目指す



クロスボーダー流通プラットフォーム事業

自社サービス『コネクタアジア』とは国内事業者、流通会社のアジアマーケット進出を容易にするIT × 流通ノウハウ × マーケティングの日本初のデジタルプラットフォーム

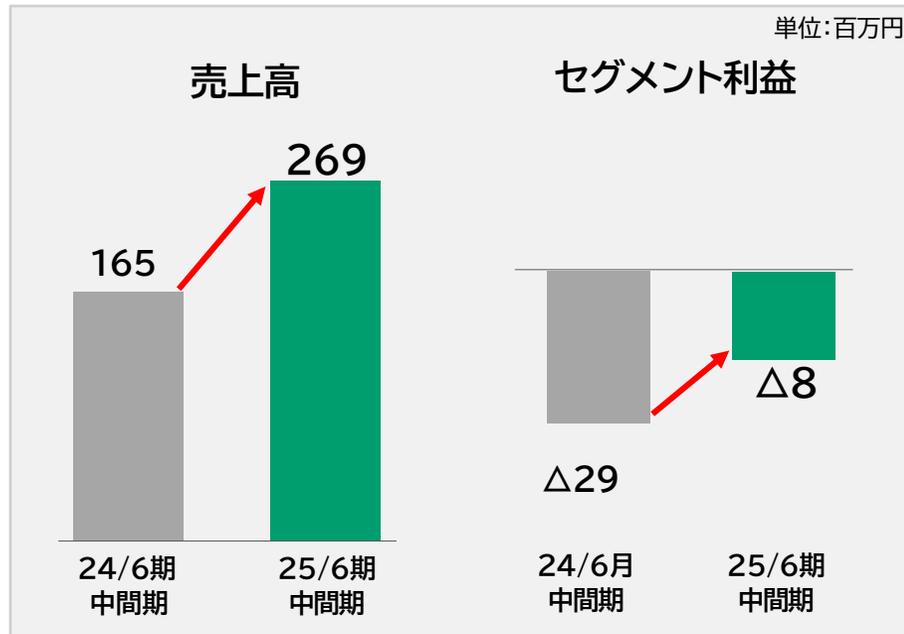


決算概要：クロスボーダー流通プラットフォーム事業

増収・赤字幅縮小

単位:百万円

	24/6期 中間期	25/6期 中間期	増減率 (前年同期比)	増減額 (前年同期比)
売上高	165	269	+62.9%	+103
セグメント利益	△29	△8	—	+21
セグメント利益率	—	—	—	—



要因・その他

【増収・赤字幅縮小】

- プラットフォームサービスの利用企業獲得に向けたプロモーション活動は順調に進展し、計画を上回る水準で推移
- toC向け販売マーケティング活動を複数展開

【投資継続】

- シンガポール最大の繁華街にある直営店舗、EC、及びデジタルマーケティング機能を掛け合わせ、多くの顧客と接点を広げたデータ収集、分析を継続
- 海外への農産品輸出額増加という市場動向を追い風にtoC、toB両市場の顧客ニーズに沿った商材の提案、本格的な商流化の支援を目指す



通期業績予想 (2025年6月期)

通期業績予想(全社)

上方修正

- 売上高:** 各セグメント共に好調に推移したこと等により期初予想を上回る見込み
利益: 第3四半期以降も堅調に推移する見込み
投資: 事業拡大に向けた採用活動、人材育成、及びクロスボーダー流通プラットフォーム事業への投資継続

単位:百万円

	24/6期 実績	25/6期 期初予想	25/6期 修正予想	増減率 (期初予想比)	増減額 (期初予想比)
売上高	5,072	5,800	6,200	+6.9%	+400
営業利益	239	400	550	+37.5%	+150
営業利益率	4.7%	6.9%	8.9%	—	+2.0pt
経常利益	261	390	550	+41.0%	+160
親会社株主に帰属する 当期純利益	155	230	300	+30.4%	+70
年間配当(円)	5	5	5	0	0

通期業績予想(セグメント別)

単位:百万円

		24/6期 実績	25/6期 期初予想	25/6期 修正予想	増減率 (期初予想比)	増減額 (期初予想比)
ICT ソリューション 事業	売上高	4,763	5,400	5,750	+6.5%	+350
	セグメント利益	789	960	1,100	+14.6%	+140
	セグメント利益率	16.6%	17.8%	19.1%	—	+1.3 pt
クロスボーダー流通 プラットフォーム 事業	売上高	309	400	450	+12.5%	+50
	セグメント利益	△58	0	△20	—	△20
	セグメント利益率	—	—	—	—	—



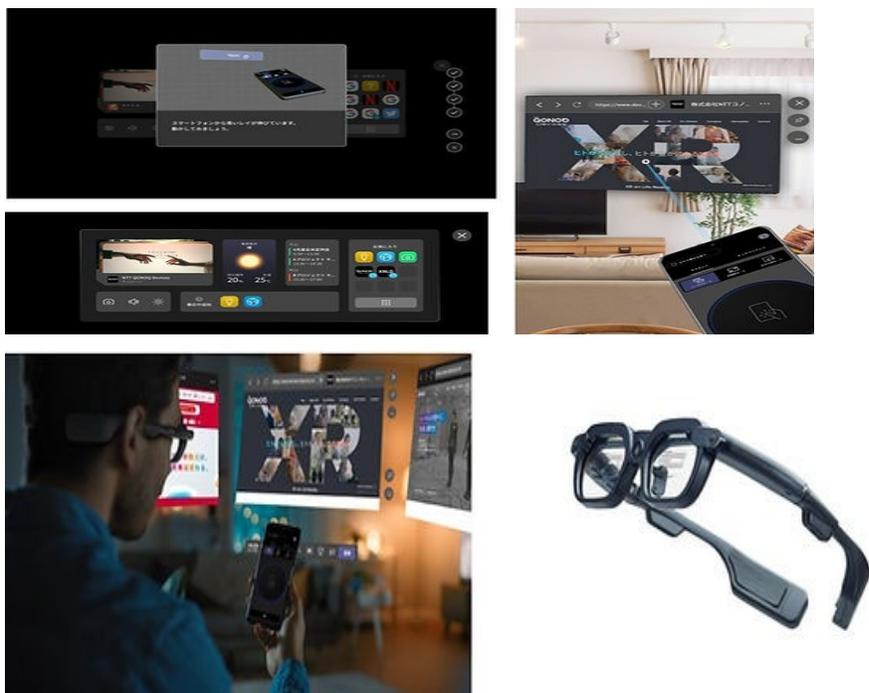
APPENDIX

AI関連のサービス開発実績

NTTコノキューデバイス社XRグラス『MiRZA』 ユーザーインターフェース設計及びアプリを開発

XRグラスの利用シーンと特性を踏まえ開発を実施

- ・外出先でもスマホでスムーズな操作が可能なUI設計
- ・グラス向けスマホアプリを複数開発



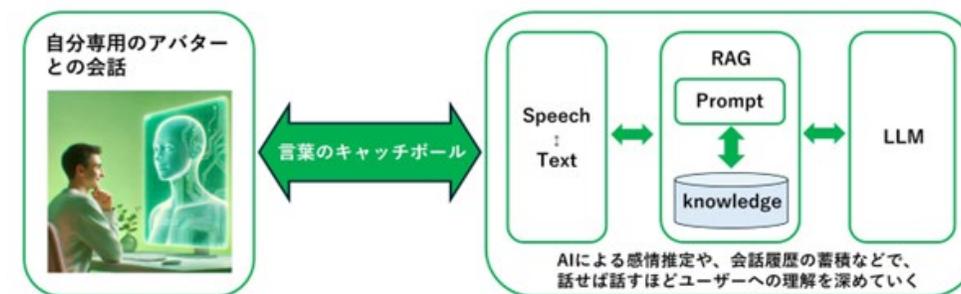
2024/9/9リリース

<https://www.techfirm-hd.com/pressrelease/20240909.html>

デジタルヒューマンと生成AIを組み合わせた 「感情推定」を可能とするアバターシステムを開発

様々なシーンでの課題解決に向けた活用を想定

- ・高齢者の認知症予防、介護者の負担軽減
- ・医療現場のサポート、社員の健康管理
- ・インタラクティブ学習
- ・心理的障害が高い商材のカウンセリング
- ・「推しキャラ」との1対1コミュニケーション機会を提供



2024/9/17リリース

<https://www.techfirm-hd.com/pressrelease/20240917.html>

テックファームグループ 会社概要

テックファームホールディングス株式会社

資本金： 1,000百万円
連結社員数： 303名

ICTソリューション事業



テックファーム株式会社
(出資比率:100%)

資本金： 100百万円
社員数： 265名

カジノ施設向け電子決済
ソリューション事業



Prism Solutions Inc.
(出資比率:100%)

資本金： 3,088米ドル
社員数： 1名

クロスボーダー流通
プラットフォーム事業



株式会社WeAgri
(出資比率:72.9%)

資本金： 195百万円
社員数： 10名

人工知能・データサイエンス技術
研究、開発



株式会社ギャラクシース
(出資比率:34.0%)

資本金： 17百万円
社員数： 10名

※非連結会社

リフォーム業向け業務支援
ソリューション事業



株式会社SANKI TECH
(出資比率:14.0%)

資本金： 30百万円
社員数： 7名

※非連結会社

世界初、日本初、業界初等の先進的な”未来づくり“に挑戦

売上高
(億円)

80

70

60

50

40

30

20

10

0

1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

1999年

世界初の携帯電話
IP接続サービス
「iモード」

2004年

ANA MILEAGE CLUB
「ANA MLCアプリ」
ペーパーレス搭乗
おサイフケータイ

2008年

明治~1400万件以上
読売新聞データベース
「ヨミダス歴史館」

2011年

音声エージェントサービス
「しゃべってコンシェル」

2014年

ミライト 共同開発
客室設置型タブレット
「ee-TaB*」
(イータブ・プラス)

2017年

「FaceAI」機能
搭載アプリ
「第一生命」

2018年

世界初の情報銀行
「Dprime」

2021年

KOKUYO
AI分析による
感情の可視化研究

2022年

業界初の
プラットフォーム
サービス

2024年

小売業ECサイト
3D生成
ソリューション

世界初、AR2搭載
XRグラス「MiRZA」
UI設計・アプリ開発



TechFirm

本資料は、テックファームホールディングス株式会社(以下「当社」)が当社及び当社グループ会社(以下「当社グループ」)の企業情報等の提供のために作成したものであり、国内外を問わず、当社が発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。本資料に記載されている当社及び当社グループに関連する見通し、計画、目標等の業績予想や将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと大きく異なる場合があります。